シーンⅣ－９　特別名勝「松島」マツ林再生緊急対策事業

事業目的

特別名勝「松島」地域の景観を形成するマツ林を急速に拡大する松枯れ被害から守り，後継樹の育成を図ることで，地域の観光振興を側面から支援しつつ，宮城の豊かな自然環境の象徴で，かけがえのない財産でもある「松島」の景観を次世代に引き継ぐための取組です。

事業効果

新規植栽	212 本

事業内容

平成27年度事業費　23,120千円

● **松くい虫被害木の緊急伐倒駆除（実施主体：県）**

当地域において急速に拡大する被害への対応として，特別名勝「松島」区域内における緊急的な伐倒駆除事業を実施します。

事業量：600m³　　事業費：18，000千円

● **マツ林再生対策（実施主体：県）**

松くい虫被害やウミネコのフン害により植生荒廃が進む島嶼部において，新たなマツ林の再生技術（植栽・定着）を検討し，観光船航路上にあり景観上優先的に対策が必要な島を対象に，モデル施工及び新技術によるマツの植栽を進めます。

事業量：一式　　事業費：５，１２０千円

事業対象地：布袋島，恵比寿島，大黒島，毘沙門島，伊勢島

松島町（手前：恵比寿島，奥：大黒島）

現　状

松くい虫被害やウミネコのフン害により植生荒廃が進む島嶼

表土の極端に薄い岩礁部

税導入後のイメージ

「ウミネコの侵入防止」，「岩礁部での活着性能向上」に力点を置いた植栽技術の開発を進め，マツの後継樹を育成します。